

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第1回定例会 No. 1

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 要 旨 | 質 問 の 相 手 |
|-----|---------|------------------------|---|-------------------------------|
| 1 | 沖 野 一 雄 | 1 スポーツ振興及び健康増進対策について | (1) 与論町多目的運動広場ゆいLANDの完成により、体育・スポーツ等の一層の普及拡充はもとより、交流人口の増大も期待されているが、これら施設等の有効活用を含めてどのようなビジョンの下で具体的な振興策を進めていく方針であるか。 (2) 高齢者等を含む年齢層や性別に関わらず、或は家族ぐるみでも気軽に楽しめる、ウォーキングサッカー等のニュースポーツの普及促進に本腰を入れて取り組む考えはないか。 (3) 町民の健康増進や体力向上、医療費抑制にも繋がる一石三鳥の手立てとして、日常活動に自転車利用の普及拡大を図る必要性を痛感するが、全町的に推進する考えはないか。 | 教 育 長 教 育 長 町 長 |
| | | 2 広域事務組合負担金について | (1) 沖永良部与論地区広域事務組合に係る負担金額の見直しを企図する組合規約変更議案について、平成27年12月に本町議会で否決した経緯があるが、その後も消防本部等を中心に、本町分の負担割合を増やす方向での見直し論が関係会合等において度々提起されているようである。 地方交付税の基礎数値により負担額を算出する現行システムこそが、最も公平で最良の算定方法と考えるが、町長の認識と考え方、今後の対応策について伺いたい。 | 町 長 |
| 2 | 高 田 豊 繁 | 1 町職員給与の支給について | (1) 労働基準法上、超過勤務手当の支給については2年の時効期間があるが、町職員の時間外勤務手当は適正に支給されているか。 (2) 本町職員の給与水準ラスパイレス指数は全国的に極めて低い状況にあるが、今後その解決に向けた具体的な取組と、そのための財源確保はどのように考えているか。 | 町 長 町 長 |
| | | 2 役場庁舎の跡地利用及び周辺再開発について | (1) 役場庁舎の跡地利用や周辺を一体的に再開発するアイデアを一般から懸賞付きで公募する考えはないか。 | 町 長 |

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第1回定例会 No. 2

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 要 旨 | 質 問 の 相 手 |
|-----|---------|-------------------------------|--|-----------|
| | | 3 産業廃棄物処理の適正化について | (1) 営農活動に伴う農業用廃プラ等の産業廃棄物処理に関し、有識者や関係者による対策協議会を設立し、早急なる対策を講ずる必要があると思われるが今後の方向性を伺いたい。 | 町 長 |
| | | 4 公共交通機関の運行対策について | (1) 役場仮庁舎への利用や交通条件不利地域の住民、高齢者及び交通弱者等の公共交通対策について、町長はどのように認識しているか。また、公共交通対策会議（仮称）設立の目処や今後の対策についてどう考えているか。 | 町 長 |
| 3 | 野 口 靖 夫 | 1 魅力ある観光地づくりと振興策について | (1) 破壊された自然の再生と保護こそ、魅力ある観光地だと思うが、町長は現状をどのように認識しているか。また、観光客や交流人口の増加を図るための今後の施策を伺いたい。 | 町 長 |
| | | | (2) 観光振興には既存するスポーツ施設や文化財の有効活用、特産品の開発が極めて重要と考えるが、その施策を伺いたい。 | 町 長 |
| | | | (3) 新規航空路線（例えば、与論、福岡間等）の開設要請活動や、観光資源の魅力について積極的な広報活動を展開することが重要かと思われるが、どう進めていくのか伺いたい。 | 町 長 |
| | | 2 茶花漁港内の施設整備と航路の浚渫（しゅんせつ）について | (1) 漁船の大型化に伴い、船舶ドッグの整備が必要であると痛感されるが、今後どう進める方針であるか。 | 町 長 |
| | | | (2) 漁船の損壊防止や安全運航のために早急なる航路の浚渫が望まれるが、どのように認識し、今後の施策について伺いたい。 | 町 長 |
| 4 | 林 敏 治 | 1 魅力ある観光地づくり対策について | (1) 本町が魅力ある観光地であるためには、島一番の観光スポットである大金久海岸から船倉海岸一帯の景観整備や観光関連業者の接客マナーの向上など様々な受入れ態勢の充実を図る必要があると考えるが、具体的対策をどう講じていく考えであるか。 | 町 長 |

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第1回定例会 No. 3

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 要 旨 | 質 問 の 相 手 |
|-----|-------|----------------------|---|-----------|
| | | 2 交流人口の拡大対策について | (1) 交流人口の拡大を図るためには、沖縄と連携した新たなイベント等の共同開催や観光振興策を計画して、積極的に推進する必要があると痛感されるが、具体的対策をどう講じていく考えであるか。 | 町 長 |
| | | 3 さとうきびの品質対策について | (1) 今期のさとうきびは、昨年秋の台風による潮風害や日照不足などで糖度が低迷している。品質取引のため、糖度の低迷は農家所得に影響を及ぼすものと懸念されるが、どのように認識し、今後、具体的対策をどう講じていく考えであるか。 | 町 長 |
| | | 4 奄美群島振興交付金事業の活用について | (1) 平成30年度末に期限切れとなる奄美群島振興特別措置法の延長を強く国に要請するとともに、新年度に創設される奄美群島振興交付金事業「チャレンジ枠(仮称)」を千載一遇のチャンスととらえ、積極的に活用することが肝要であると痛感されるが、町長はどう取り組んでいく考えであるか。 | 町 長 |
| 5 | 林 隆 壽 | 1 さとうきびの振興について | <p>(1) 平成29年度産さとうきび収穫においては、年内創業が25年ぶりに行われ、12月25日までに3,500トンが搬入されているが、今年の生育については、台風22号被害による原料きびの収穫量の減や品質低下からさとうきび農家の所得減が懸念される。そうした状況の中において、次年度への再生産意欲向上に繋げる年内操業の継続と生産農家への支援が必要と思われるが、どのように認識し、どう対応していく考えであるか。</p> <p>(2) 今期のさとうきび収穫形態は、11台によるハーベスター収穫委託が67パーセント、手刈り収穫が33パーセントとなっている。徳之島や沖永良部においては、95パーセント以上がハーベスター委託で収穫しているが、本町におけるさとうきび生産の収穫作業受託組織の現状をどのように認識し、将来に向けてどう対処していく考えであるか。</p> | 町 長 |

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第1回定例会 No. 4

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 要 旨 | 質 問 の 相 手 |
|-----|---------|---------------------|---|-----------|
| | | 2 さとうきび及び飼料畑の推進について | (1) 現在、畜産においては、総頭数5,300頭、年間子牛出荷量2,500頭、販売額が約15億円以上となっており、子牛生産は順調な推移を示しているが、それに伴って飼料畑が不足している状態である。全耕地面積1,050ヘクタールの中に、飼料畑が約400ヘクタール、さとうきびが約450ヘクタール栽培されているが、この作目別栽培面積の競合の現状をどのように認識し、どのようにさとうきび及び飼料畑の推進をしていく考えであるか。 | 町 長 |
| 6 | 町 俊 策 | 1 閉鎖されている県道の開通について | (1) コースタルリゾート駐車場付近の一般県道与論空港茶花線から臨港道路への交通は交差点が閉鎖されているため、一旦、一般県道与論島循環線を迂回する方法しかなく、不便を来たしているとともに、安全面からも改善が必要であると思われる。閉鎖されている両側の道路を開通し、安全な交差点にすべきだと痛感するが、町長はどう考えているか。 | 町 長 |
| | | 2 水道の水質検査について | (1) 施設入所者が入浴後に湿疹が出て肌が痒いとのことから、施設が独自で水質検査を行ったところ、硬度基準値は満たしているものの水質にも一因があるのではとの不安の声があるが、他にもこういった事例はでてきていないか。また、水質検査の現状はどうなっているか。 | 町 長 |
| | | 3 水道水の安全対策について | (1) 水道水の安全性を確保するため、水源地への進入防止柵や監視カメラの設置等を行い、テロなどの犯罪防止対策を緊急に講じるべきだと痛感するが、現状はどうなっているか。 | 町 長 |
| 7 | 川 村 武 俊 | 1 観光振興対策について | (1) 世界文化遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つである今帰仁城跡と関連して与論城跡と世之主の墓(和泊町)がある。和泊町と連携して関連遺産として追加登録を推進し、観光振興を図る考えはないか。 | 町 長 |
| | | 2 むし歯予防対策について | (1) 子どものむし歯予防対策は、どのように取り組んでいるか。 | 町 長 |

一 般 質 問 通 告 書

平成30年第1回定例会 No. 5

| 順 位 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 要 旨 | 質 問 の 相 手 |
|-----|-------|--------------------------|---|-----------|
| | | 3 島外医療機関受診に係る旅費負担の軽減について | (1) 子どもの島外医療機関受診の際の宿泊費及び交通費の負担が大きく、子育て世帯から軽減対策を講じてほしいとの切実な声があるが、町長はどのように認識し、どう考えているか。 | 町 長 |
| | | | | |